

第4 1回地域連携手帳委員会（略称：手帳委員会）

日時 平成30年12月20日(木) 13時30分～

会場 新津医療センター病院 大会議室

1. 連携手帳の現状と問題点

特に問題なし。

ケアマネからの積極的な発行もケアマネ会を通じてお願いしている。

2. 連携手帳の発展的利用

①認知症患者に対する手帳の使用でトラブルがあった事例。

軽度の認知（本人の自覚無し）の方に家族への情報伝達のために記入し
本人を傷つけてしまった。具体的には失禁の事実を記入。

- ・手帳はあくまでも情報共有で利用者にメリットがあるものを記入する。
共有しなくても良い情報、本人にデメリットになる可能性がある情報は載せない。

②人生の最終段階の思いを記入する（エンディングノートとして）のはどうか。

基本情報欄に書いておくのはどうか。

心も変化するのでそれだけで判断するのは危険か。

定期的に記入が必要で、心の変化も解るようなものにしないとイケない。

医師も勉強が必要。老衰で独り暮らしなどの場合、本人の意志が確認できれば
ありがたい。

柏市のふくろうプロジェクトが参考になる。

今後、導入に向けて検討していくこととする。

3. その他

次回手帳委員会

平成31年2月21日（木）午後1時30分から

新津医療センター病院大会議室

以上